



ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた  
見やすいデザインの文字を採用しています。



ノンVOC(Volatile Organic Compound)インキ  
大豆油インキの比率をほぼ100%に高めたもの。  
大気中への有機化合物の揮発はほとんどあり  
ません。



ミックス  
責任ある木質資源を  
使用した紙  
FSC® C010229

FSC® 認証用紙

この印刷物には、FSC® 認証用紙が使用されて  
います。



Waterless  
印刷時に有害な廃液がでない「水無し印刷」で  
印刷しています。

フジトランス コーポレーション

2016年6月発行

本社  
〒455-0032 愛知県名古屋市港区入船一丁目7番41号  
TEL:052-653-3111 FAX:052-652-7110  
<http://www.fujitrans.co.jp/>

FUJITRANS

# CSRレポート

FUJITRANS CORPORATION CSR REPORT 2016

# 2016



「和」でつなぐ人と社会



# 目次

contents



- 02 CSR方針／運営体制
- 03 トップメッセージ
- 05 会社概要
- 07 【特集】  
わたしたちの生活を支える港  
～フジトランスがコンテナターミナルで果たす役割～

## 安全の追求・品質の向上

- 11 管理体制
- 12 ゼロ災キャンペーン
- 13 熱中症予防キャンペーン  
酸素欠乏症防止キャンペーン  
フォークリフト安全運転強化キャンペーン
- 14 緊急時海陸通報訓練  
全国安全会議
- 15 ヒューマンエラー防止教育  
安全・安心職場づくり報告会  
ヨーロッパ現地法人の従業員が視察訪問
- 16 リスクを予見した安全啓発



## 法令遵守への思い

- 17 経営者コンプライアンス勉強会
- 18 モラル勉強会
- 19 コンプライアンス強化月間  
コンプライアンスアンケート調査
- 20 内部監査室の設置  
マイナンバー制度の社内説明会  
AEO制度を認定取得  
健康講話会・個別健康相談会

## 環境への取り組み・社会地域と共に

- 21 環境強化月間  
新入社員グリーンオリエンテーション
- 22 地域と連携して海藻を養殖・販売  
足船清掃活動
- 23 ビーチクリーン  
ISO 事務所周辺美化活動  
清掃奉仕活動
- 24 小学生社会見学  
中学生職場訪問  
交通街頭立ち合い

- 25 2015年度CSR活動実績



## CSR方針

フジトランス コーporationは、「『和』の精神」を社是に掲げています。「和」とは、人の和を尊重し全体的な信頼と協調を基に一致団結する「内なる和」と、地球環境・地域社会・お客さま・協力会社との調和・協和・融和を基にした「外なる和」の二つから成り立っています。

その精神のもと、従業員がお客さま・地域社会と共に成長していこうという想いを込め、CSR方針を「『和』でつなぐ人と社会」と決めました。そして、私たちがCSRを実践すべき活動領域を3つに大別し、それぞれに分会を設けて活動を推進しています。

### 企業として取り組むべき領域

- 法令と社会規範を守り、常に誠実で公正な活動を行う。
- 企業は社会の一員であり、良き企業市民として成長・発展していく。

### 本業そのものがCSRとなる領域

- 物流事業者の使命として、安全で高品質なサービスの提供をする。

### 社会へ感謝する領域

- 地球環境に配慮し、快適な社会と地域づくりに貢献する。
- 社会から学んできたことに深く感謝し、社会の期待や希望に応えていく。

## 運営体制

### CSR推進委員会

代表取締役社長

委員長・副委員長

事務局

### 法令遵守分会

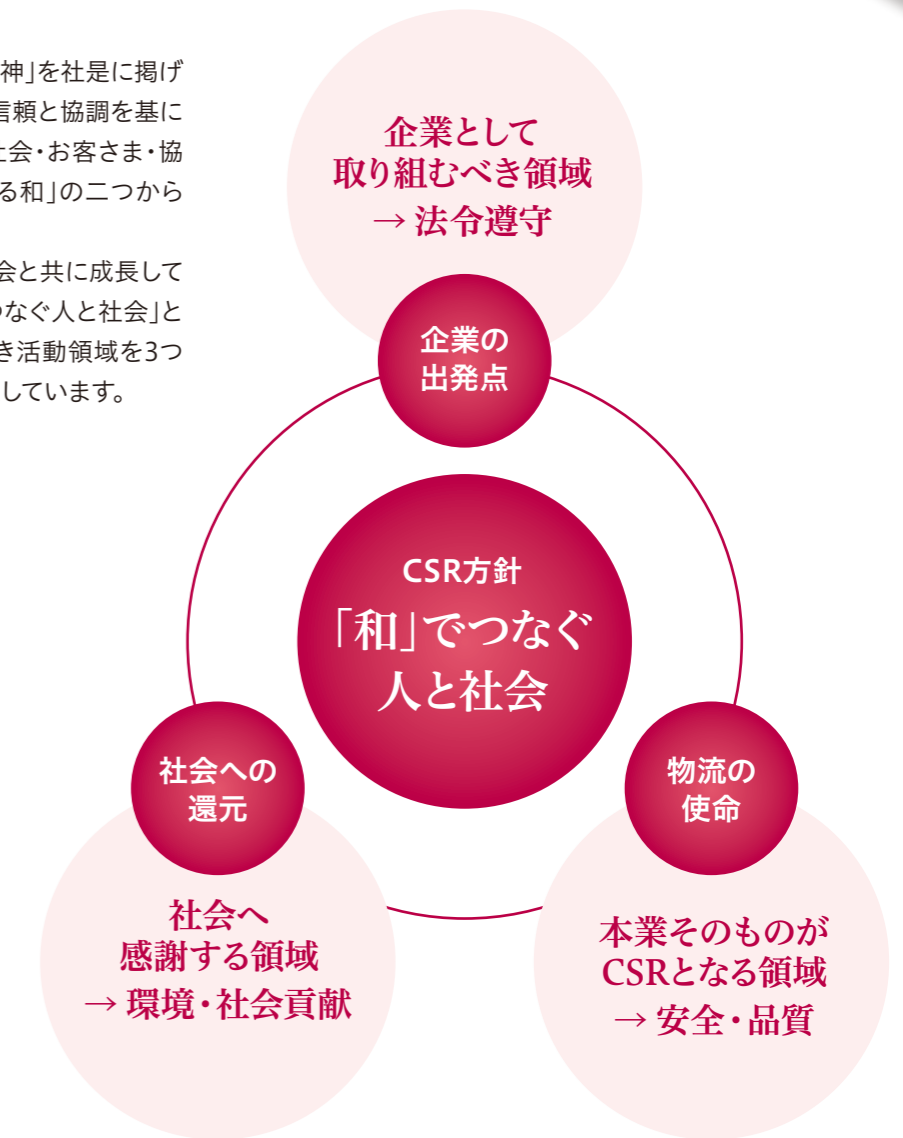
従業員一人一人が法令と社会規範を守り、高い倫理観を身に着けるための教育と啓発を推進

### 安全・品質分会

安全作業および安全運航を目指す活動と、お客さま満足に向けた品質向上活動を推進

### 環境・社会貢献分会

環境・社会貢献活動の推進と参加型企画の立案および実施



トップメッセージ

# SHINKA

～未来に向かって成長～

代表取締役社長 系井辰夫



## 「ビジョン2015」最終年として

2015年の世界経済は、アメリカが好調さを示す中、中国や新興国の落ち込みが鮮明に表れ、全体的には不安定であったと言えます。

一方、国内経済は、円安によって輸出企業の収益の回復が見られましたが、海外経済の影響や個人消費の低下により、もたつき感のある景況でありました。

こうした中、当社は2010年よりスタートした第3次中期経営計画「ビジョン2015」の最終年として、国内では新造船「すずか」を就航させたほか、適切な内部統制機能を備えると同時に、海外を含めた内部監査の充実を図るために、内部監査室を新たに設置いたしました。

海外においてはASEAN地域の営業強化を図り、タイ、インドネシア、ミャンマーで新倉庫の建設に着手いたしました。また、シンガポール、フィリピン、中国の現地法人や駐在員事務所の集約化を図り、ダウンサイジングを行ってまいりました。このような取り組みによって、さらなる物流基盤の拡充と強化に着実な歩みを見せることができました。

そして2016年4月には、第4次中期経営計画「ビジョン2018」をスタートさせ、目標に向かって新たな第一歩を踏み出しました。

### 「ビジョン2015」実施期間中の主な事業活動

2010年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 航空機、宇宙関連機器の輸送に特化した特装営業部を新設</li> <li>● 優良通関業者としてAEO制度の認定を取得</li> </ul>
2011年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 内陸倉庫「豊田物流センター」を稼働</li> <li>● 新造船「あつた丸」の就航</li> </ul>
2012年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 免震装置を備えた本社新社屋を竣工</li> <li>● 海運事業会社グループをM&amp;A</li> <li>● ミャンマー駐在員事務所を開設</li> </ul>
2013年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>● (株)フジトランス ライナー等、国内関連会社を再編</li> <li>● ミャンマー、インドネシア、カンボジアに現地法人を設立</li> <li>● タイで自社倉庫を稼働</li> </ul>
2014年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>● フィリピンに現地法人を設立</li> <li>● 朽木合同輸送(株)等、国内関連会社を再編</li> <li>● 鋼材センターをM&amp;A</li> </ul>
2015年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新造船「すずか」の就航</li> <li>● 海外を含めた内部監査の充実のため、内部監査室を新設</li> <li>● シンガポール、フィリピンの現地法人を再編</li> <li>● 中国事業のダウンサイジング</li> <li>● タイ、インドネシア、ミャンマーの新倉庫建設に着手</li> </ul>

## 新たな時代に向かって

「ビジョン2018」で、当社が目指す将来像はSHINKAです。昨今の絶えず変化する社会情勢と多様化する物流ニーズに対応するためには、当社がSHINKA(進化・真価・深化・新化・芯化)していくことが重要です。当社は創立以来、木材の荷役からはじまり、在来船・専用船の港湾荷役を通じて、次に来るモータリゼーションを予知し、自動車輸送の分野で成長を遂げてまいりました。先人に習い、さらに現況変化に柔軟に対応し、会社機能をSHINKAさせ、成長させていきたいと思っております。

当社を取り巻く環境は、お客さまであるメーカーの海外シフト、TPPの大筋合意、少子高齢化による労働者不足など、大きく変化しています。ASEANを含む新たな成長領域への的確な進出判断、国内主要事業である港湾運送、船舶運航、船舶管理などの機能の強化に加え、このノウハウを活かし積極的に海外へ展開してまいります。これらグローバルな機能提案が、お客さまから当社を選んでいただける源となり、ひいては市況に左右されない当社の強みにつながっていくものと確信しております。



## オンリーワン企業を目指し

当社の物流を支えているのは「人」であり、最も大切な財産です。「企業は人なり」とあるように、人材育成は当社の重要な取り組みとして捉えています。

企業人として倫理観を持ち、謙虚に、愚直に、かつ何事にも当事者意識を持って、チームとして仕事に取り組むことが、大切なことだと私は思います。この姿勢の積み重ねによって、人と人がつながり、信頼となり、心に響く企業と

して魅力のある物流サービスをお客さまに提供できるのではないのでしょうか。

また、物流事業や地域に関わらず、グローバルな展開をしていくために、我々は、社是「和の精神」に通ずる「社会に尽くす」という志を持ち、自由な発想で創造を繰り返す、当社にしかできないサービスを提案するオンリーワン企業を目指してまいります。

# 会社概要

## Company Profile

当社は、1952年に名古屋市港区で創業した総合物流企業です。港湾運送業・内航海運業を中心に、海上・陸上・航空輸送、保管・在庫管理、梱包、通関など物流に関わるあらゆる事業を展開しています。7隻の内航船舶を運航する船社としての側面も持っている点が特徴です。

設立当初は、木材の荷役を中心とする港湾運送会社でした。1960年代にはモータリゼーションによる需要の増大を的確に捉え、1962年に我が国初の自動車専用RO/RO船「東朝丸(とうちょうまる)」を就航させることで内航海運業に進出。完成車の国内輸送分野で成長し、現在の基盤を確固たるものにしました。今日、北海道から沖縄まで国内17拠点を有し、海陸一貫した車輌・一般貨物輸送を行っています。

また、輸出入の取り扱い範囲とサービスの拡大のため、積極的に海外展開に取り組んできました。1977年、シンガポールで駐在員事務所を立ち上げたことを皮切りに、フォワーディングや船舶代理店業から倉庫、梱包、陸上輸送などに業容を拡大。今では北米、欧州、中国、東南アジアの14カ国でサービス展開しています。

これらのネットワークを駆使して、完成車(乗用車、農機、建機など)や自動車部品を中心に、農産品、衣料品、化学品、非鉄金属、木材チップなど、さまざまな貨物を取り扱っています。また、長大貨物の輸送にも精通しており、宇宙関連機器や航空機部材、プラントなど豊富な輸送実績があります。

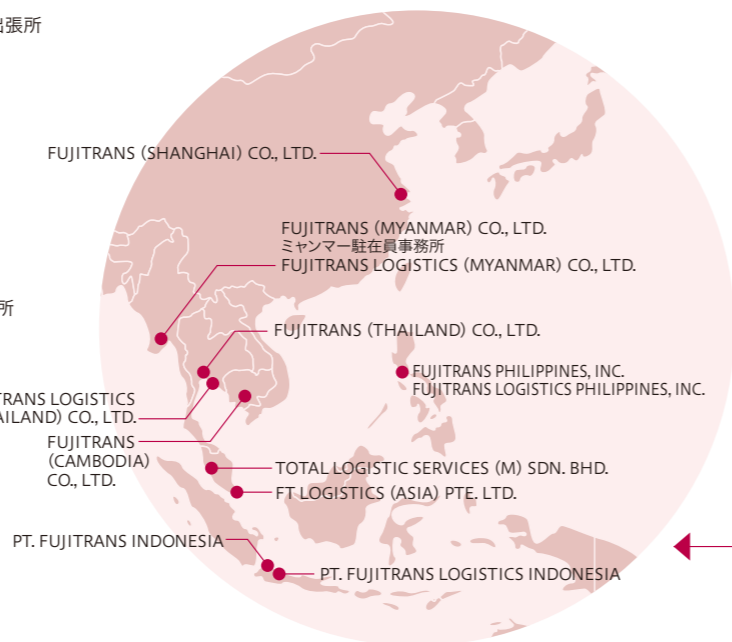
名称	株式会社フジトランス コーポレーション
本社所在地	〒455-0032 名古屋市港区入船一丁目7番41号
設立年月日	1952(昭和27)年9月29日
資本金	2億円
代表者	代表取締役社長 系井 辰夫
従業員数	1,266人(2016年3月末現在)
主たる営業種目	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 港湾運送に関する事業</li> <li>● 内航海運に関する事業</li> <li>● 海上運送に関する事業</li> <li>● 各種倉庫に関する事業</li> <li>● 梱包事業</li> <li>● 通関に関する事業 …他</li> </ul>

## 事業所一覧

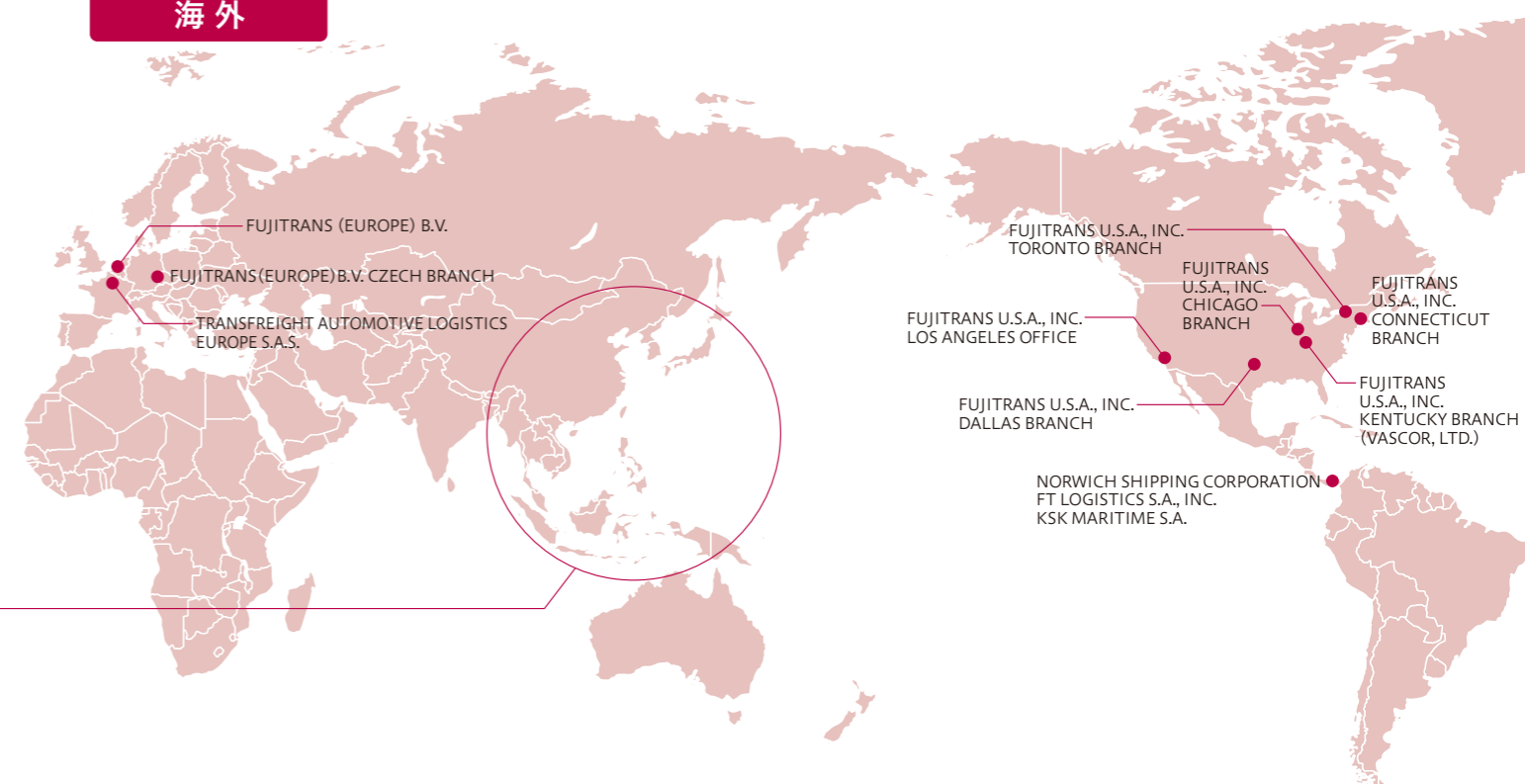
### 国内



### 東南アジア



### 海外



## 事業ハイライト (2015年度)

2015年2月

PT. FUJITRANS LOGISTICS INDONESIA設立

インドネシアでの業容拡大を目指し、2013年10月に設立したPT. FUJITRANS INDONESIAに続き、PT. FUJITRANS LOGISTICS INDONESIAを設立。

2015年8月

FUJITRANS U.S.A., INC. DALLAS BRANCH開設

アメリカ中南部の物流獲得に向け、FUJITRANS U.S.A.がテキサス州ダラスに事務所を開設。

2015年12月

PT. FUJITRANS LOGISTICS INDONESIA 最大規模の梱包倉庫の建設に着工

PT. FUJITRANS LOGISTICS INDONESIAが、ジャカルタ市近郊の工業団地G.I.I.C.でインドネシアでは当社グループ初となる37,000㎡の自社梱包倉庫の建設に着工。2016年秋に営業開始予定。

2015年12月

FUJITRANS LOGISTICS (MYANMAR) CO., LTD. 設立

ミャンマーのティラワSEZ(経済特別区)で、FUJITRANS LOGISTICS (MYANMAR) CO., LTD.を設立。ミャンマーで保税倉庫の整備を進め、2017年1月の開業を予定。

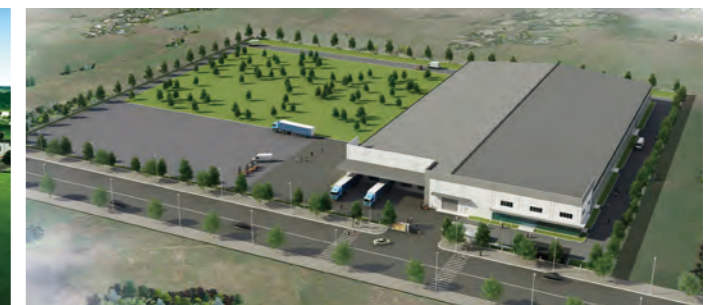
2016年3月

中期経営計画を刷新

2010年にスタートした中期経営計画「ビジョン2015」の終了に伴い、新たに3カ年の経営計画「ビジョン2018」を始動。



PT.FUJITRANS LOGISTICS INDONESIA 梱包倉庫完成予定図



FUJITRANS LOGISTICS (MYANMAR) CO., LTD. 倉庫完成予定図

# 特集 わたしたちの生活を支える港

～フジトランスがコンテナターミナルで果たす役割～



国土の四方を海に囲まれた島国・日本。

資源をはじめさまざまな物資を海外に頼る日本の経済や生活は、海外との貿易なくして成り立ちません。

その貿易の窓口としてわたしたちの生活を支えているのが、港です。

## 生活を支える港

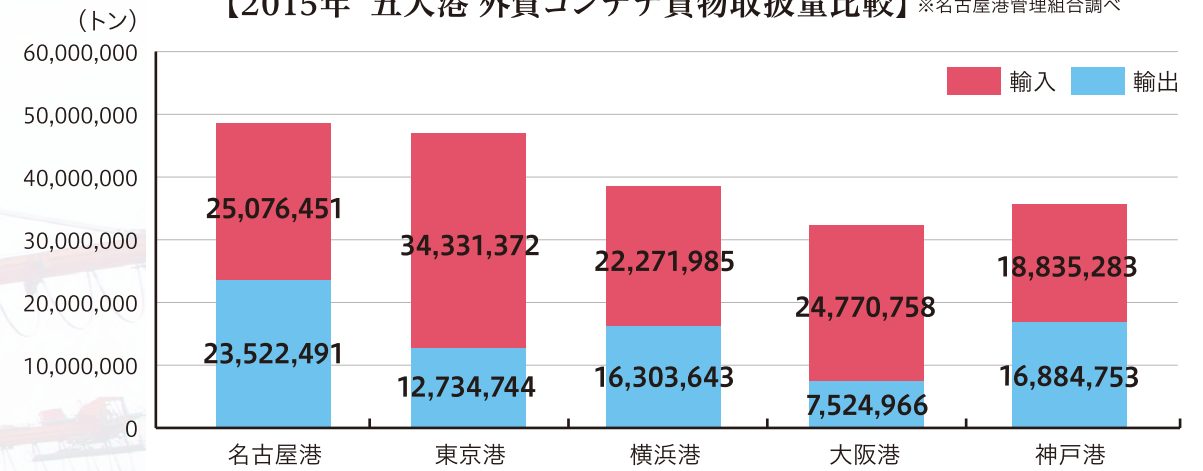
日本は原油や天然ガス、鉄鉱石などの資源を中心に、諸外国から多くの物資を輸入しています。そのうち、船舶によって港から入ってくる貨物の割合は99%以上を占めます。航空機で輸入されてくる貨物のごくわずかに過ぎません。これは、船という輸送モードが一度に大量の貨物を輸送するのに適しているからです。つまり、わたしたち国民の生活に密接に関わっている多種多様な輸入品は、そのほとんどが港を経由してわたしたちの手元に届いていることになります。

## 名古屋港の特色

日本には現在、海上輸送で使用される港湾が100以上あります。その中で、当社の創業の地である名古屋港は、貿易量で14年連続日本一、貿易額で5年連続日本一を誇る、国内屈指の貿易港です。

名古屋港の取り扱い貨物の特徴として、石炭や鉄鉱石などの資源を中心に輸入し、それを原料に各種メーカーが製造した製品を主に輸出しているという点が挙げられます。名古屋港の背後に広がる中部地方は、日本の「モノづくり」を支える大手メーカーが集まる一大工業地区です。特に自動車工業が盛んで、完成自動車や自動車部品、補用品を含め、輸出品目の約7割を自動車関連製品が占めています。そのため、名古屋港と同じ日本の五大港の中で、背後に一大消費地を抱える東京港や大阪港では輸入の割合が多いのに比べ、輸出の割合が多いのも名古屋港の特徴の一つと言えます(右ページのグラフを参照)。

【2015年 五大港 外貿コンテナ貨物取扱量比較】※名古屋港管理組合調べ



## コンテナリゼーションの台頭

古代から交易に欠かせない存在だった港。この港を通じて行われてきた海上輸送に革命を起こしたのが、1950年代に開発された「コンテナ」です。

コンテナを利用しない従来の貨物船(在来船)の場合、貨物の荷姿や性質に応じてさまざまな道具を使い分けて積み込まなくてはならず、大変な作業でした。しかし、大きさが統一されたコンテナと、それを運搬するコンテナ船の登場により、貨物の輸送効率と荷役能率が飛躍的に向上しました。在来船で1時間に荷役できる量はおおよそ30t程度でしたが、ガントリークレーンを使用したコンテナ船だと1時間にコンテナ約30本分、重量にしておよそ600tの貨物の積み卸しができるようになりました。こうして貨

物をユニット化することにより荷役の機械化・効率化が進み、輸送コストも大幅に削減されました。これが「コンテナリゼーション」です。

荷役方式の革命的な転換により作業効率が格段に向上しましたが、一方でコンテナの規格に対応するために、港の様子も大きく変わりました。以前は船自身がクレーン(デリック)を備えていましたが、コンテナの台頭により、ガントリークレーンを備えたコンテナ専用岸壁や集積コンテナ保管ヤード、バンプール、搬入出ゲートなどが整備され、コンテナ荷役に必要なストラドルキャリアやトップリフターなど、規格に合わせたさまざまな設備や機械を備えた港が造られるようになりました。コンテナ船の大型化に伴い、船を受け入れる岸壁の水深も、より深くなりました。





ガントリークレーンで荷役中のコンテナ船



たくさんのコンテナが積まれたパンプール

## 名古屋港のコンテナへの対応

コンテナリゼーションが急速に広がっていく中、名古屋港では1968年にコンテナの取り扱いが始まりました。金城ふ頭西側で工事中だった定期船埠頭のうち2バースの計画を変更して、応急的にコンテナを扱える重量物埠頭として整備し、ガントリークレーンを1基据えつけたことで、在来船だけでなくコンテナ船の受け入れが可能になりました。12月には、名古屋港で初めてフルコンテナ船「箱根丸」が寄港しました。

その後、1972年に供用開始した名古屋コンテナふ頭を皮切りに、飛島ふ頭北、飛島ふ頭南、鍋田ふ頭、飛島ふ頭南側コンテナターミナルへと、コンテナ物流拠点が広がってきました。

他の港では、各船会社がバースを占有借りし、占有借りできない船会社は公共ターミナルを使用しています。そのため、ターミナル間の互換性がなく、利便性はあまりよくありません。それに対し名古屋港では、名古屋コンテナ埠頭(株)が名古屋港管理組合と邦船社6社(当時)の共同出資で設立されるなど、会社間の連携が強いことが特徴です。複数の運営会社でそれぞれの岸壁を管理している点も特殊です。当社も、名古屋ユナイテッドコンテナターミナル(株)、飛島コンテナ埠頭(株)の共同出資社の一社であり、他の港湾各社とともにターミナルオペレーターとして、輸出入の最前線で業務に従事しています。

現在、名古屋港のコンテナターミナルは、さらなる発展を遂げています。名古屋港の先進性を代表するターミナルの一つが、2005年に供用が始まった飛島コンテナ埠頭です。ここでは、事務所ビルの一室から遠隔操作される

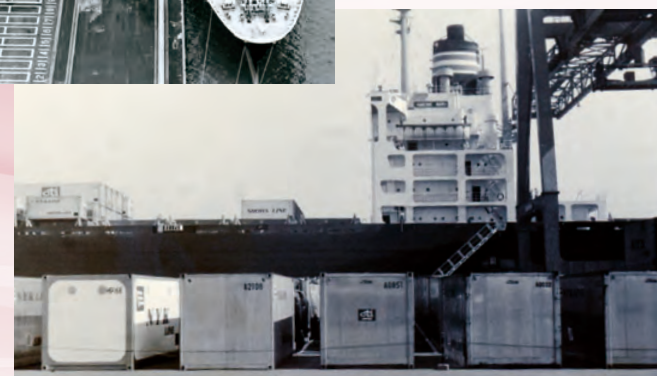
トランスファークレーン(RTG)、ヤード内でコンテナを無人搬送するAGVなどを組み合わせ、国内で初めて自動化ターミナルを実現しました。

2011年には、3つのコンテナターミナルが集中する飛島ふ頭の北側で、「集中管理ゲート」の運用が始まりました。複数のターミナルのゲート業務を一カ所で集中管理するのは、全国でも類を見ない画期的な取り組みです。これによって頻繁に発生する渋滞が解消され、荷役効率の向上に貢献しています。

こうした自動化ターミナルや集中管理ゲートの基盤を支えているのが、「名古屋港統一ターミナルシステム」(NUTS: Nagoya United Terminal System)と呼ばれるシステムです。名古屋港の港運各社が共同で構築したこのシステムは、コンテナの取り扱い業務を規格化・平準化しました。現在の名古屋港の発展は、このシステムがあって初めて実現できたと言えます。



昭和43年(1968)  
12月19日に金城ふ頭  
コンテナターミナルに  
接岸した邦船初の  
フルコンテナ船「箱根丸」  
(写真提供)名古屋港管理組合



## 震災復興に貢献した名古屋港

1995年1月17日、淡路島北部沖を震源とする阪神・淡路大震災が発生しました。震度7を観測し、戦後に発生した地震では当時最大規模の被害を出したこの大地震は、物流面にも大きな爪痕を残しました。とりわけ、それまで日本最大のコンテナ港だった神戸港が受けた損害は甚大でした。岸壁、上屋、倉庫、荷役機械の大部分が使用できなくなり、道路も寸断されました。また、コンテナが海上に流出したため、一部海域が航行禁止区域に設定されました。

こうした事態を受けた名古屋港管理組合は、日本の港湾の国際競争力を低下させないため、また、経済活動を停滞させないため、翌18日に名古屋海運協会や名古屋港運協会と共に名古屋港阪神大震災連絡協議会を設置しました。そして、神戸に寄港できなくなったコンテナ船と積み荷のコンテナを受け入れ、神戸港への支援も決定・実施しました。具体的には、飛島ふ頭北側の在来船用岸壁をコンテナ対応岸壁に転用。金城ふ頭コンテナターミナルでは、廃止または撤去予定だったクレーンを活用しつつ、さらにクレーン3基を新設し、コンテナ荷役ができるよう整備しました。船から揚げたコンテナは、飛島ふ頭と鍋田ふ頭に確保したバックアップヤードまでトレーラーで陸上輸送し、搬出しました。鍋田ふ頭は当時、まだ何もない原っぱでしたが、大量のコンテナで溢れ返りました。



## コンテナターミナルの 未来とSHINKA

2015年に発表された名古屋港の改訂港湾計画の方針の一つとして「ものづくり」の集積地・中部地方を象徴する自動車関連産業と、今後さらなる発展が期待される次世代産業の一つ・航空機産業の国際競争力強化のために、物流機能をさらに強化することが盛り込まれています。それを実現すべく、貨物の増加に対応するためにターミナル用地の拡張や大型船が寄港可能な岸壁の増深、トレーラーの交通量増加を想定した埠頭間のアクセス環境の向上など、具体的な計画が持ち上がっています。

2016年4月には、名古屋港のコンテナターミナルを一元的に管理運営し、効率化を推進するため、名古屋港埠頭(株)と名古屋コンテナ埠頭(株)が合併しました。

企業活動において物流がますます重要になっていく中、日本の物流の大動脈である名古屋港は、さらなる発展を目指しています。当社もまた、名古屋港を担う一社として、コンテナターミナルを取り巻くインフラ整備に呼応し、高効率な物流サービスの提案を積極的に進めています。

日本の社会と経済を支えるため、当社は自らの事業をSHINKAさせ、これからも物流サービスを通じて社会に貢献し続けていきます。



# 安全の追求・品質の向上

当社は安全な物流の実現のために、日々の確認や訓練・教育などの努力を欠かしません。そして安全衛生管理や危機管理体制の充実を図り、大切な貨物はもちろん、一人一人の従業員の安全確保に努めています。

Quality Control

Safety Management

## 管理体制

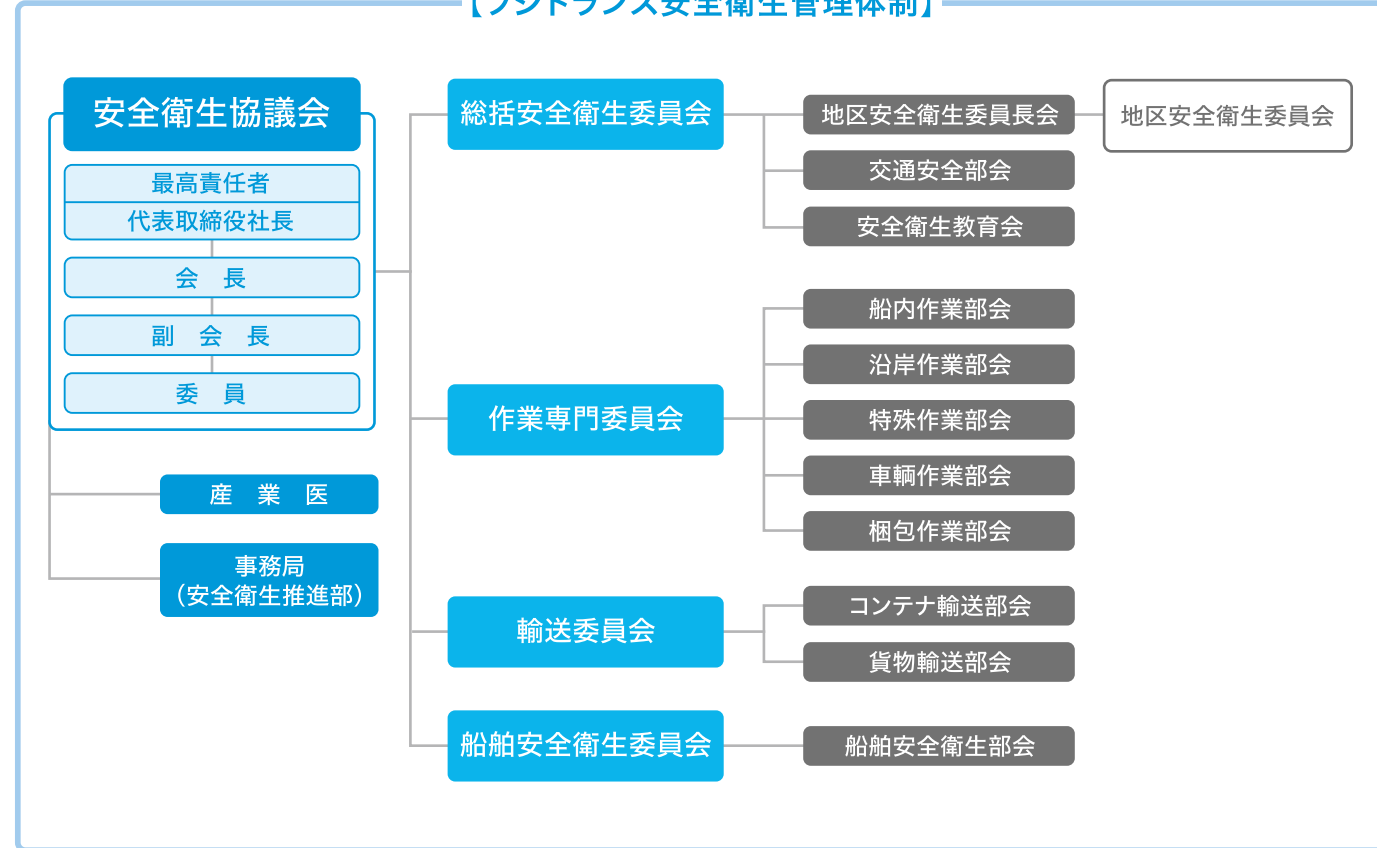
Safety Management & Quality Control

### 万全な管理体制を構築

安全は、総合物流企業としての重大な使命です。安全の追求は、お客さまへの信頼につながり、事業全体のクオリティーを高めることにも通じます。当社では「安全」と「品質」は一体と考え、安全衛生協議会を頂点とした強固な管理体制を構築し、徹底した安全管理に取り組んでいます。



#### 【フジトランス安全衛生管理体制】



## 各種安全キャンペーン

Safety Management & Quality Control

上期:2015/7/1(水)~10(金)  
下期:2015/12/1(火)~10(木)

### ゼロ災キャンペーン

#### 全ての事故ゼロを目指して

当社グループでは、年に2回「ゼロ災キャンペーン」を開催しています。グループ全役員・全従業員が一丸となって、労働災害をはじめ、物損事故、交通事故などの“全ての事故ゼロ”を目指すため、期間中には、安全衛生協議会を中心に各事業所の現場を巡視し、危険箇所の発見や職場環境の改善を行うなど安全な職場の形成に努めました。また、フォークリフトなどの荷役機器の運転時に、シートベルトの着用をルール化し、作業従事者への安全配慮にも力を入れました。

今後も“全ての事故ゼロ”に向け、キャンペーン期間中だけでなく従業員一人一人が安全意識を高め、決められたルールを守るなど、災害防止に向けた活動が確実に定着するよう全社員で取り組んでいきます。



#### スローガン

- 上期 危険見つけてみんなで改善  
意識高めて安全職場
- 下期 みんなの思いと行動で  
創りあげよう安全職場

#### キャンペーンポスター



## 各種安全キャンペーン

Safety Management & Quality Control

2015/6/1(月)~10/31(土)

### 熱中症予防キャンペーン

#### 正しい知識と予防で熱中症を予防

夏は日射しが強く、体温が著しく上昇するため、熱中症にかかりやすくなります。そこで2015年6月1日から5か月間、「熱中症予防キャンペーン」を実施しました。

熱中症とは体の水分が少なくなり、熱が体にこもった状態のことです。多くの従業員が港湾荷役など、労働集約型の業務に従事する当社では、全従業員が熱中症予防の正しい知識を持ち、体調の変化に気を付け、周囲の人にも気を配り予防に努めることが必要です。

期間中は毎日、従業員の健康状態を確認し、水分・塩分の摂取を促すなど従業員が熱中症になりにくい職場づくりに取り組みました。また、熱中症予防対策ビデオを使った指導やキャンペーンポスターの各事業所への掲示により、従業員の熱中症予防に対する意識の向上に努めました。



2015/10/11(日)~10/20(火)

### 酸素欠乏症防止キャンペーン

#### 実践的な訓練でリスクを回避

酸素濃度が低い空間では、人体に重大な危険を及ぼすことがあります。そこで当社は、毎年「酸素欠乏症防止キャンペーン」を実施しています。酸素欠乏の恐れがある木材チップ船作業に従事する現業員を対象に、ビデオを使った救急・救命処置や外部講師を招いた心肺蘇生法の体験訓練などの安全教育を実施しています。

今年で15回目となる「酸素欠乏症救助訓練」では、木材チップ船の船内で現業員が酸素欠乏症で倒れたことを想定した実践的な訓練を行い、被災者をより安全に、そして速やかに救出できるよう人命救助の能力向上を図りました。



2015/11/1(日)~11/15(日)

### フォークリフト安全運転強化キャンペーン

#### 安全操作の技術を競い合う

フォークリフト作業は、お客さまからお預かりした貨物を傷つけず正確に取り扱う技術が必要です。安全運転強化キャンペーンを通じてフォークリフト作業従事者の運転操作の確認と共に、安全確認の重要性と、さらなる安全意識の高揚を図ります。

期間中には、キャンペーンの一環でフォークリフト技能競技会を実施しました。全国の事業所から選出された代表者15人が、日頃から磨いてきた技術を披露しながら、手順と操作の正確性を競い合いました。



## 船舶安全活動

Safety Management & Quality Control

2015/12/22(火)

### 緊急時海陸通報訓練

#### 船舶火災を想定した訓練

当社では、船舶の緊急事態にも迅速かつ冷静に対処できるよう、毎年「緊急時海陸通報訓練」を実施し、習熟度の向上を図っています。2015年度も海運事業の本拠地、九号地分室で実施しました。

この訓練では、航行中の船舶で火災が発生し負傷者が出たという想定のもと、対策本部を立ち上げ関係各署に連絡するなど、訓練手順を実践して一人一人の役割と責任を確認し合いました。

今後もさまざまな災害を想定した実践的な訓練を行い、不測の事態にも万全の態勢で臨みます。



2016/2/8(月)

### 全国安全会議

#### 年間無事故・無災害の表彰

今年で36回目を迎える全国安全会議は、当社の内航海運事業に協力いただいている全国の作業会社の代表をはじめ、各支店・出張所の責任者が一堂に会して、1年間の安全活動の功績と功労を称えるものです。今年は協力会社23社に表彰状を授与しました。





## 安全教育・訓練

Safety Management & Quality Control

毎月実施

### ヒューマンエラー防止教育

#### 一人一人が力を合わせて安全を作り出す

当社グループでは、名古屋地区で作業に従事する現業員やドライバーを対象に、「ヒューマンエラーの防止」教育を毎月実施しています。この取り組みは、常日頃危険と隣合わせで業務に就いている作業員が、業務に潜む危険を発見し、解決するための危険予知訓練(4ラウンド法)を実践し、災害の大半を占めるヒューマンエラーを防止するのが目的です。教育カリキュラムの中で受講者は現場巡視を行い、日頃、巡視される立場から巡視する側に回ることで目線を変え、感受性を高め、さらなる安全意識の高揚を図りました。

安全は、常に存在する危険を的確に予測して、確実に防止する努力の積み重ねから得られるものです。相互に注意を心掛けるとともに、一人一人が力を合わせ、安全を作り出していく意識を持つことが大切です。



2016/2/25(木)

### 安全・安心職場づくり報告会

#### 全ての事故ゼロへ工夫と挑戦

安全で災害のない快適な職場の形成を目的に、「安全・安心職場づくり」報告会を実施しています。今回は13の事業所の代表者が参加し、2015年度のキーワード「連鎖～創造と挑戦の実現」を基にして、固定観念にとらわれない創意や工夫を凝らした職場改善の報告を行いました。この取り組みを通じて、事業所間でリスク管理の再徹底や横展開を図り、作業員がより働きやすい作業環境やルール作りに役立てていきます。



2015/9/28(月)～10/2(金)

### ヨーロッパ現地法人の従業員が視察訪問

#### 日本の作業現場を現地・現物で学習

2015年9月28日、FUJITRANS (EUROPE) B.V.の従業員3人が来日しました。今回の訪問は、日本のグループ会社の安全・品質を考慮した現場構築の手法を見学し、今後の業務に生かすこと、日本でのさまざまな体験を通して各人のモチベーションを高めることが目的です。

3人は、流通センターと豊田物流センターで日本の倉庫運営を視察し、ポリテクセンターでは現業員のフォークリフトの講習を見学しました。また、九号地のRO/RO船の荷役や飛鳥コンテナパースの自動化コンテナターミナルを視察しました。



## 予防安全

Safety Management & Quality Control

2015/4月・8月・12月 2016/2月

### リスクを予見した安全啓発

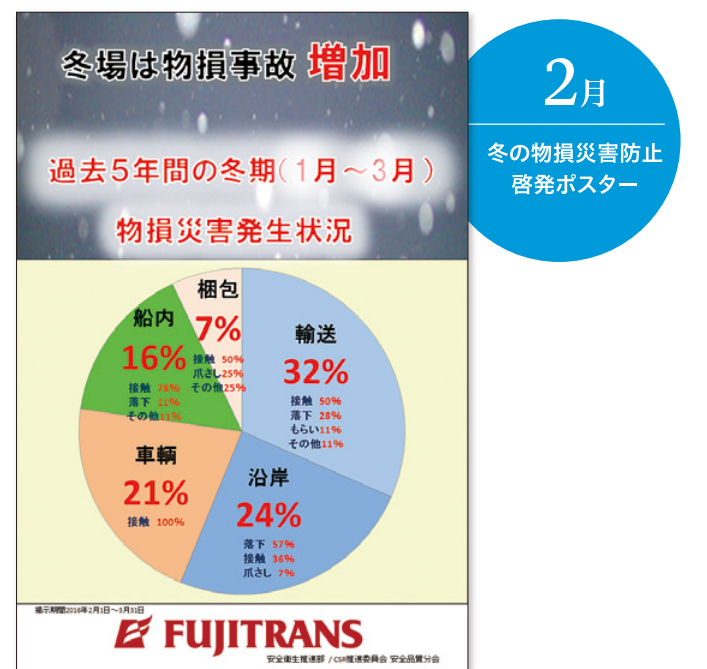
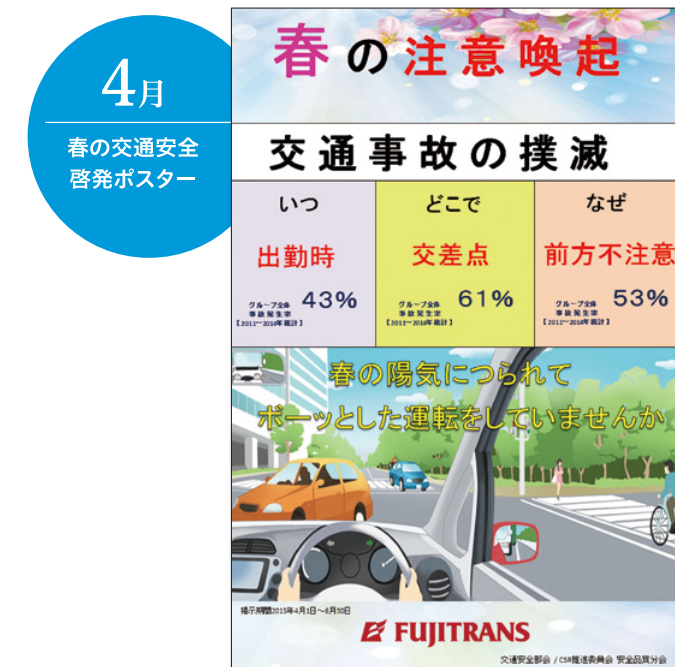
#### 過去の災害を教訓に

CSR推進委員会 安全品質分会では、災害を未然に防ぐ“予防安全”を推進し、活動を進めてきました。

当社で過去5年間に発生した災害事例をデータ化し、年間を通して事故が増加する時期や作業の種類、あるいは季節との関連性といった発生傾向を捉え、さまざまな角度から事故

の分析を行い、安全衛生推進部や交通安全部と連携し、年4回にわたりリスクを予見した安全啓発を実施しました。

安全品質分会では、この取り組みを2016年度も継続し、全従業員への周知を図ることで“予防安全”に努めます。



# 法令遵守への思い

コンプライアンスはCSRの基本であり、公正な企業活動の拠り所となるものです。当社はコンプライアンスを役員・全従業員に周知徹底すると共に、事業活動により良く活かすための努力を怠りません。当社の主業である物流は、社会の隅々へ活力を運び、結ぶ仕事。その大前提にコンプライアンスを位置づけています。



Compliance

## コンプライアンスへの姿勢

当社は社是「『和』の精神」に基づいた経営理念のもと、コンプライアンスの実践をCSRの一つと位置づけています。コンプライアンスの実践は、企業が社会的責任を果たし、社会から信頼される企業であり続けるために必要不可欠です。高い倫理観を持ち、法令はもちろん、社会規範から社内規定まで、さまざまなルールやマナーを守りながら業務に取り組んでいます。

## 法令遵守分会

委員3人で構成される「法令遵守分会」は、当社グループの従業員一人一人がコンプライアンスの意識を持って良識ある事業活動を行うため、グループのコンプライアンス体制の確立と維持を目的として各種勉強会や強化月間、意識調査を行い、役員・従業員への啓蒙・啓発活動を推進しています。

## 経営基盤の強化

Compliance

2016/3/15(火)

### 経営者コンプライアンス勉強会

#### 経営者に向けた勉強会

当社は関係法令を正しく理解し、誠実で公正な企業活動を継続するため、年間を通じてコンプライアンス勉強会を実施しています。これは業務についての理解を深めると共に、企業として「法令」「規則」「モラル」の遵守に高い意識を持つことを目的としています。

2015年度はコンプライアンスに強い弁護士を講師として招き、国内グループ会社を含む役員を対象とした「経営者コンプライアンス勉強会」を開催しました。経営者としての法的責任、企業グループの内部統制について講義を受け、法令遵守の重要性を改めて認識しました。



経営者に求められるコンプライアンスの知識を再確認

2015/4/10(金)

### モラル勉強会

#### 情報発信に関する勉強会

当社は事業活動を通して、お客さまからお預かりした貨物の情報や取引業者などのさまざまな情報を扱います。高度情報通信社会における個人情報保護の重要性を認識してもらうため、新入社員研修の一環として、社会人となった新入社員に「インターネットへの情報発信」に関する勉強会を実施しています。



積極的に発言・質問する新入社員

## 社内講師による勉強会の実績

4月

### ■港湾運送事業法(第1回)

対象者 新入社員  
内容 港湾運送事業の基礎知識  
～港運の発祥から現在まで～

6月

### ■倉庫業法

対象者 本社地区勤務者、各拠点担当者  
内容 倉庫業の概説～営業倉庫の機能と仕組み～

### ■港湾運送事業法(第2回)

対象者 九号地分室勤務者  
内容 港湾運送事業の概要と課題  
～港湾運送の仕組みと課題～

7月

### ■労働者派遣法(第1回)

対象者 本社地区勤務者  
内容 派遣と労働者供給事業の関係

### ■港湾運送事業法(第3回)

対象者 九号地分室勤務者  
内容 6月度の研修の質疑応答

8月

### ■労働者派遣法(第2回)

対象者 九号地分室勤務者  
内容 派遣と労働者供給事業の関係

### ■港湾運送事業法(第4回)

対象者 飛鳥地区勤務者  
内容 港湾運送事業の概要と課題  
～港湾運送の仕組みと課題～

9月

### ■港湾運送事業法(第5回)

対象者 飛鳥地区勤務者  
内容 8月度の研修の質疑応答

### ■労働基準法

対象者 全従業員  
内容 労働基準法の基礎  
～知識共有と違反した場合の罰則について～

### ■貨物利用運送事業法

対象者 本社地区勤務者、各拠点担当者  
内容 国際的な一貫輸送のニーズに対応する規制のあり方

10月

### ■下請法・独占禁止法

対象者 全従業員  
内容 目的や禁止行為を知る  
～まず、何をすべきか? 取引内容の書類作成と保存～

### ■契約書捺印方法

対象者 実務担当者  
内容 契約文書の捺印方法などの勉強会

### ■港湾運送事業法(第6回)

対象者 本社地区勤務者  
内容 港湾運送事業の概要と課題  
～港湾運送の仕組みと課題～

11月

### ■港湾運送事業法(第7回)

対象者 本社地区勤務者  
内容 10月度の研修の質疑応答

1月

### ■内航海運業法

対象者 本社地区勤務者、各拠点担当者  
内容 内航海運業法、内航海運組合法の規制と仕組み  
～内航は国内物流の大動脈～

### ■港湾労働法

対象者 金城地区勤務者  
内容 港湾労働法の概要  
～港湾労働法の仕組みと港湾労働者派遣事業～

3月

### ■廃棄物処理法

対象者 全従業員  
内容 廃棄物処理法勉強会  
～事業者における廃棄物処理責任～

2015/9/1(火)~10/31(土) **コンプライアンス強化月間**

**コンプライアンスを身近に考える**

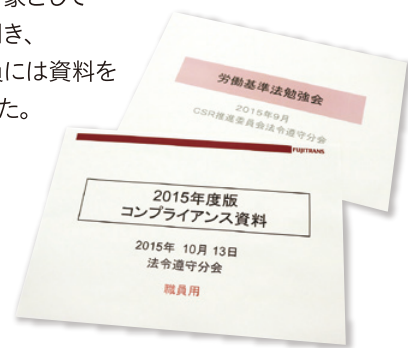
コンプライアンスについて、一人一人が日ごろの行動を見つめなおす「コンプライアンス強化月間」を設けています。期間中にはコンプライアンス資料の配付や、各事業所に啓発ポスターを掲示して意識高揚を図りました。また労働基準法の勉強会を実施し、就業規則など、働く上で知っておくべき労働条件を再確認しました。

**啓発内容**

**全従業員向け** 社内報で、重要方針について取り上げました。

**事務職向け** イン트라ネット上で解説資料を掲載して、各自で熟読しました。

**現業職向け  
梱包職向け** 役付者を対象として勉強会を開き、一般現業員には資料を配付しました。



2015/11/9(月)~16(月) **コンプライアンスアンケート調査**

**さらなる意識の向上を目指す**

コンプライアンス強化月間の終了後には、全従業員を対象にコンプライアンスアンケート調査(Q&A)を実施しました。企業が法令や規則を遵守し、企業活動を行うために、従業員一人一人に求められている知識や常識の理解度を調査することで、さらなるコンプライアンス意識の向上につなげていきます。

アンケート終了後には、解答と解説をイン트라ネット上に公開しています。

**出題テーマ**

労働基準法(労働時間、過重労働、労働災害)  
労働者派遣法、独占禁止法、下請法、  
セクハラ・パワハラ、マナー、モラル、重要方針

2015年度の活動内容	結果	2016年度改善策
<p><b>法令関係</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 独占禁止法、下請法、労働者派遣法(偽装請負含む)の勉強会を継続して実施。</li> <li>● 職場環境と過重労働をテーマとした勉強会を強化月間に開催。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>独占禁止法の理解度</b> → <b>86.5%</b></li> <li>● <b>過重労働の理解度</b> → <b>81.3%</b></li> <li>● <b>労働災害の理解度</b> → <b>91.7%</b></li> </ul> <p>理解・認識が従業員へ浸透していることが数値で示された。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 労働者派遣法の勉強会を内部監査室と人事部で実施し、講師を内製化していく。また下請法の勉強会を継続する。</li> <li>● 過重労働と新しく労災保険をテーマにした勉強会を開催する。</li> </ul>

**誠実な事業活動**

2015/4/1(水) **内部監査室の設置**

**専門部署による内部監査**

グループ全体におけるコーポレート・ガバナンス体制の強化のため、2015年度からリスク管理と企業の内部統制を行う内部監査室を設けました。本部に属さない社長直轄の組織で、監査専門の部署として社内だけでなく、国内関連会社や海外現地法人を対象に内部監査を実施しています。

また同室では内部監査に加えて監査に関連した法務の指導も行っています。



2015/8/27(木)~9/4(金) **マイナンバー制度の社内説明会**

**新制度を従業員に周知・教育**

2016年からスタートしたマイナンバー制度について、全従業員を対象とした説明会を実施しました。説明会では同制度の内容、通知される個人番号の取り扱い、今後、個人番号が必要となる手続き、社内規程の制定、個人番号を利用する際の利用制限、故意に漏洩させた場合の罰則、既に制度が導入

されている海外での悪用事例などについて周知・教育を行いました。

また当社では、確実なマイナンバー利用と保護に関する知識を身に付けるため、関連部署において常に最新の情報の取得に努めています。

特定保税承認制度:2008/5~ 認定通関業者制度:2010/11~

**AEO制度を認定取得**

**税関手続きのセキュリティを向上**

貨物のセキュリティ管理とコンプライアンスの体制が整備された事業者として、2008年5月に特定保税承認制度の承認を受け、2010年11月にはAEO認定通関業者制度の認定を受けています。

2015年度からは全従業員の名刺にAEO認定事業者を示すシンボルマークを表示しています。

AEO事業者として、国際物流のセキュリティ確保と円滑化の両立を強化した社内体制で、業務を行っています。



年間 **健康講話会・個別健康相談会**

**従業員の健康づくり**

労働安全衛生法に基づき、従業員の健康を守ることは、社会的責任の一つと言えます。

当社は2006年から「健康教育の日」と称して、外部から保健師を招き、「健康講話会・個別健康相談会」を実施しています。健康講話会は、「心身両面にわたる健康づくり」をテーマとしています。個別健康相談会では、定期健康診断などで医師の所見があった人や長時間労働者を対象に健康指導を行っています。

**実施実績**

- 4月~8月(開催場所:本社、丸の内分室、九号地分室、金城オペレーションセンター、飛島分室)  
「健康診断結果の見方と対処法」
- 9月(開催場所:九号地分室)  
「部下を持つ管理職のためのメンタルヘルスケア」※対象者:主任以上の参加希望者
- 10月(開催場所:豊橋支店)  
「健康診断結果の見方と対処法」
- 11月~3月(開催場所:本社、丸の内分室、九号地分室、金城オペレーションセンター、飛島分室)  
「女性特有の健康管理について」※対象者:女性従業員

# 環境への取り組み・社会地域と共に

Social Action

当社を育てていただいた社会・地域、そこに住む人々に貢献することは、当社のCSRの根源です。環境方針を策定して社員の意識を高め、当社にとって事業を支える大切なフィールドである港や海で、地球環境に配慮した活動を行っています。

Environment Protection

## 環境保全活動

Environment Protection & Social action

上期:2015/6/1(月)~30(火)、下期:2015/11/1(日)~30(月)

### 環境強化月間

#### 全員参加でエコ推進

当社は、2002年からISO14001を認証取得しています。2015年度の定期審査では環境マネジメントシステムが継続して適切に運用維持されていると評価され、登録維持承認の判定を受けています。

本社や九号地分室をはじめとするISO14001認証拠点では環境活動の一環で、6月・11月を「環境強化月間」と定めて、省資源・省エネルギー活動を強化し、従業員一人一人の意識高揚を図りました。期間中は、机の中に眠っている事務用品の回収や身の回りの整理整頓を促すクリーンDayの実施、環境自己診断アンケートにより、オフィス内の環境活動に積極的に取り組みました。



事務用品の回収を実施



上期エコ活動啓発ポスター

2015/6/17(水)~19(金)

### 新入社員グリーンオリエンテーション

#### 環境のために社有林で植樹

新入社員研修の一環として、2012年から北海道でグリーンオリエンテーションを行っています。今回は、新入社員ジェネラリスト21人が参加しました。

初日は第一次産業を体験するため、関連会社の(株)厚真ファームで農業と畜産の現場を見学しました。2日目には、

岩内郡共和町にある社有林「フジツブの森」で地元森林組合のご協力の下、植樹活動を行いました。樹種は北海道を代表するトドマツで、60年後には住宅材として使えるようになります。CO2吸収源として、また、資材として立派に育つよう、一本一本丁寧に植えました。



苗木を植え、丁寧に土をかぶせます

## 快適な社会と地域づくり

Environment Protection & Social action

2016/3/8(火)

### 地域と連携して海藻を養殖・販売

#### 水産と福祉の共同事業による新しい社会貢献活動

環境・社会貢献分会では、水産と福祉の連携事業から生まれた「尾鷲ひろめ」の事業を支援するため、社内販売を行いました。

ヒロメは千葉県南房総や和歌山県田辺など一部地域で食べられているワカメに似た海藻で、三重県の特産品です。

養殖・水産加工事業を行うため三重県尾鷲市に設立された当社グループのエフティアクア有限責任事業組合では、同市で障がい者の継続的な就労を支援している(株)やきやまふあーむと連携し、同社の閑散期に新たな雇用を創出するため、ヒロメの洗浄・乾燥・包装など製品化作業を委託しています。

水産と福祉が連携して障がい者支援を行う事例は全国的にも少なく、三重県では初の試みです。



約90cmに成長したヒロメを海から揚げます



海洋深層水で葉を洗浄



根や太い茎を取り除き、ロープなどに吊るして3日間乾燥



完成した「尾鷲ひろめ」

2015/5/27(水)・10/29(木)

### 足船清掃活動

#### 船で海上をきれいに

5月27日(水)、10月29日(木)の2回、名古屋港および周辺の海上・河川の清掃活動を行いました。この活動は、会社の足船に乗り、水面のゴミを網ですくって集めるものです。両日もとも40ℓ×3袋のゴミを回収しました。

名古屋港の海と、それにつながる河川をきれいに保つために、毎年各部署から従業員が参加しています。



タモ網で浮遊している空き缶などを拾います

2015/7/30(木)・8/13(木) **ビーチクリーン**

## ゴミを拾ってきれいな海岸に

当社では毎年夏に、愛知県知多郡美浜町の若松海水浴場でビーチクリーンを行っています。

この付近には、昨年まで当社の保養所「野間寮」がありました。保養所から歩いて行けるこの海岸のきれいな景観を維持するため、地元観光協会の方たちと連携して清掃しています。

今年は7月と8月の2回、海水浴客が来る前の早朝に行いました。各部の代表者と環境・社会貢献分会のメンバーが広い海岸を歩いて回り、熊手を使って空き缶やペットボトル、包装容器、使用済みの花火などのゴミを拾いました。素足で踏むと危険な貝殻なども集めます。海岸に捨てられたゴミは、波をかぶって砂に埋もれてしまいます。そのため、重労働ですが、ふるいにかけて砂を落とし、分別して集めます。今回は例年よりゴミが少なかったものの、それでも軽トラックの荷台にはたくさんのゴミが集まりました。



2015/6/16(火)・26(金)・2016/3/24(木) **ISO 事務所周辺美化活動**

## ゴミのない地域づくりに努めよう

ISOの環境美化活動の一環で、事務所周辺の清掃活動を定期的に行っています。

6月には、本社と九号地分室で実施しました。九号地分室では、グループ会社の(株)フジトランス ライナーや鹿児島船舶(株)も参加し、事務職、現業職、ドライバーと共同で側溝に捨てられたゴミを拾ったり、歩道の雑草を刈ったりしました。

また、3月には飛島分室の周辺を清掃しました。この地区では、道路の脇の緑地帯に空き缶やペットボトル、たばこの吸い

殻など、付近を通行する車から投げ捨てられたと思われるたくさんのゴミが捨てられていました。昨年よりも収集したゴミの量が多く、燃えるゴミはポリ袋で9袋、燃えないゴミは5袋も集まりました。

ゴミのないきれいな地域づくりを目標に、今後も工夫をこらして清掃活動に努めていきます。



事務所脇の側溝に捨てられているゴミも拾います(九号地分室)



たくさんのゴミが集まりました(飛島分室)



緑地にもゴミが捨てられていました(飛島分室)

2015/4/12(日)・7/12(日) **清掃奉仕活動**

## 境内の清掃で地域に奉仕

福井県勝山市の白山平泉寺で毎年2回、清掃奉仕活動を行っています。

白山平泉寺は、霊峰白山の信仰の拠点として由緒のある寺社です。境内には一面に苔が広がって美しい景観を作り上げ、特に、現在は社務所になっている旧玄成院の庭園は国の名勝に指定されています。

毎年春と夏に行われる大祭に合わせ、社員が地元の方たちと一緒に境内を掃除しています。苔をはがさないように、苔の上に積もった落ち葉や枯れ木を慎重に拾い集めました。掃除の後には、拝殿にお参りして心も清めました。



2015/10/21(水) **小学生社会見学**

## さまざまな物が手に届くまでを知る

岐阜県養老町立上多度小学校の5年生28人が、社会見学で本社を訪れました。当社はCSR活動の1つとして社会見学の受け入れを行っています。

児童らは自動車メーカーの組立工場を見学した後、本社で当社の業務と生産された自動車がどのように消費者の手に届くのかについて勉強しました。積極的に手を挙げて質問する児童が多く、講義を熱心に聴いていました。児童の1人は「(当社が)車以外にさまざまな貨物を運んでいることを知った」と話していました。



内航海運に関するクイズに挑戦

2016/01/21(木) **中学生職場訪問**

## 日本と世界の国々をつなぐ物流会社を勉強

総合的な学習の一環で、「日本と海外をつなぐ企業」をテーマに名古屋市立今池中学校の1年生5人が当社を訪れました。生徒たちが自主的に訪問企業を選び、社会を学ぶ職場訪問・体験学習です。

当社の業務内容や海外拠点を取り上げ、物流を通じて世界の国々がどう関わっているかを紹介しました。訪問後には「物流の仕事に興味を持ってました」、「将来の職業を考えるいい機会になりました」と、お礼の手紙をいただきました。



熱心に説明を聴く生徒たち

毎月実施 **交通街頭立ち合い**

## 地域と共に交通事故ゼロを目指して

当社では交通安全部が主体となって、事務所付近の交差点で交通街頭立ち合いを行っています。

実施する場所は、名古屋市のガーデン埠頭・九号地地区・金城地区の事務所の近くです。そのうちの一つ、ガーデン埠頭にある本社付近の交差点は地下鉄名古屋港駅の出口に近いため、通勤・通学の時間になると、出社する人や車、登校する地元の子どもたちで交通量が増えます。事故を未然に防ぐため、通行者に見えるようにのぼりやプレート掲げ、シート

ベルトの着用、交差点での一旦停止など、交通マナーの徹底を呼びかけています。

街頭立ち合いは、愛知県の交通安全県民運動に合わせて4月、7月、9月、12月に実施し、役員も一緒に参加します。それ以外の月にも、交通事故死0の日(0が付く日)に合わせて立ち合いを行っています。このように会社の事業所や現場だけでなく、地域でも安全な環境づくりに貢献しています。



本社付近の交差点で交通マナーを呼びかけ

# 2015年度CSR活動実績

■…安全・品質 ★…法令遵守 ●…環境・社会貢献

実施月	項目	拠点
2015	<ul style="list-style-type: none"> <li>ISO・OHSAS定期審査</li> <li>安全キャンペーン</li> </ul>	北海道支店、大阪支店、水島支店、坂出出張所、新門司事業所、鹿児島出張所、沖縄出張所
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全定例トップ点検(沿岸作業)</li> <li>安全協議会</li> <li>船舶安全会議</li> <li>★モラル勉強会</li> <li>★コンプライアンス勉強会(港湾運送事業法)</li> <li>●事務所周辺美化活動</li> <li>●白山平泉寺 清掃奉仕活動</li> </ul>	新門司事業所
	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全キャンペーン</li> <li>交通安全統一キャンペーン</li> <li>安全定例トップ点検(貨物輸送)</li> <li>GW連休前職場点検</li> <li>●事務所周辺美化活動</li> <li>●足船清掃活動</li> </ul>	新門司事業所、大分出張所
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全キャンペーン</li> <li>交通安全統一キャンペーン</li> <li>安全定例トップ点検(貨物輸送)</li> <li>GW連休前職場点検</li> <li>●事務所周辺美化活動</li> <li>●足船清掃活動</li> </ul>	大分出張所、豊橋支店
	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全キャンペーン</li> <li>安全活動、輸送協力会、新門司港利用関係者業務連絡会</li> <li>安全定例トップ点検(船舶漏油事故操練)</li> <li>安全キャンペーン【6~7月】</li> <li>熱中症予防キャンペーン【6~10月】</li> <li>★コンプライアンス勉強会(倉庫業法、港湾運送事業法)</li> <li>●社有林「フジツの森」植樹活動</li> <li>●事務所周辺美化活動</li> <li>●新入社員グリーンオリエンテーション</li> <li>●環境強化月間(上期)</li> </ul>	北海道支店、水島支店、新門司事業所
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全キャンペーン</li> <li>安全活動、輸送協力会、新門司港利用関係者業務連絡会</li> <li>安全定例トップ点検(船舶漏油事故操練)</li> <li>安全キャンペーン【6~7月】</li> <li>熱中症予防キャンペーン【6~10月】</li> <li>★コンプライアンス勉強会(倉庫業法、港湾運送事業法)</li> <li>●社有林「フジツの森」植樹活動</li> <li>●事務所周辺美化活動</li> <li>●新入社員グリーンオリエンテーション</li> <li>●環境強化月間(上期)</li> </ul>	鹿児島出張所、沖縄出張所、新門司事業所
	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全定例トップ点検(船舶漏油事故操練)</li> <li>安全キャンペーン【6~7月】</li> <li>熱中症予防キャンペーン【6~10月】</li> <li>★コンプライアンス勉強会(倉庫業法、港湾運送事業法)</li> <li>●社有林「フジツの森」植樹活動</li> <li>●事務所周辺美化活動</li> <li>●新入社員グリーンオリエンテーション</li> <li>●環境強化月間(上期)</li> </ul>	横浜出張所、豊橋支店
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全定例トップ点検(船舶漏油事故操練)</li> <li>安全キャンペーン【6~7月】</li> <li>熱中症予防キャンペーン【6~10月】</li> <li>★コンプライアンス勉強会(倉庫業法、港湾運送事業法)</li> <li>●社有林「フジツの森」植樹活動</li> <li>●事務所周辺美化活動</li> <li>●新入社員グリーンオリエンテーション</li> <li>●環境強化月間(上期)</li> </ul>	本社、九号地、横浜出張所、福岡支店
	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全定例トップ点検(船舶漏油事故操練)</li> <li>安全キャンペーン【6~7月】</li> <li>熱中症予防キャンペーン【6~10月】</li> <li>★コンプライアンス勉強会(倉庫業法、港湾運送事業法)</li> <li>●社有林「フジツの森」植樹活動</li> <li>●事務所周辺美化活動</li> <li>●新入社員グリーンオリエンテーション</li> <li>●環境強化月間(上期)</li> </ul>	グループ本社
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全定例トップ点検(船舶漏油事故操練)</li> <li>安全キャンペーン【6~7月】</li> <li>熱中症予防キャンペーン【6~10月】</li> <li>★コンプライアンス勉強会(倉庫業法、港湾運送事業法)</li> <li>●社有林「フジツの森」植樹活動</li> <li>●事務所周辺美化活動</li> <li>●新入社員グリーンオリエンテーション</li> <li>●環境強化月間(上期)</li> </ul>	北海道支店、福岡支店、仙台支店、八戸出張所、水島支店、坂出出張所、広島出張所、新門司事業所
	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全定例トップ点検(船舶漏油事故操練)</li> <li>安全キャンペーン【6~7月】</li> <li>熱中症予防キャンペーン【6~10月】</li> <li>★コンプライアンス勉強会(倉庫業法、港湾運送事業法)</li> <li>●社有林「フジツの森」植樹活動</li> <li>●事務所周辺美化活動</li> <li>●新入社員グリーンオリエンテーション</li> <li>●環境強化月間(上期)</li> </ul>	大阪支店
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全定例トップ点検(船舶漏油事故操練)</li> <li>安全キャンペーン【6~7月】</li> <li>熱中症予防キャンペーン【6~10月】</li> <li>★コンプライアンス勉強会(倉庫業法、港湾運送事業法)</li> <li>●社有林「フジツの森」植樹活動</li> <li>●事務所周辺美化活動</li> <li>●新入社員グリーンオリエンテーション</li> <li>●環境強化月間(上期)</li> </ul>	仙台支店
	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全定例トップ点検(船舶漏油事故操練)</li> <li>安全キャンペーン【6~7月】</li> <li>熱中症予防キャンペーン【6~10月】</li> <li>★コンプライアンス勉強会(倉庫業法、港湾運送事業法)</li> <li>●社有林「フジツの森」植樹活動</li> <li>●事務所周辺美化活動</li> <li>●新入社員グリーンオリエンテーション</li> <li>●環境強化月間(上期)</li> </ul>	仙台支店、広島出張所、新門司事業所、大分出張所
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全定例トップ点検(船舶漏油事故操練)</li> <li>安全キャンペーン【6~7月】</li> <li>熱中症予防キャンペーン【6~10月】</li> <li>★コンプライアンス勉強会(倉庫業法、港湾運送事業法)</li> <li>●社有林「フジツの森」植樹活動</li> <li>●事務所周辺美化活動</li> <li>●新入社員グリーンオリエンテーション</li> <li>●環境強化月間(上期)</li> </ul>	坂出出張所、新門司事業所
	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全定例トップ点検(船舶漏油事故操練)</li> <li>安全キャンペーン【6~7月】</li> <li>熱中症予防キャンペーン【6~10月】</li> <li>★コンプライアンス勉強会(倉庫業法、港湾運送事業法)</li> <li>●社有林「フジツの森」植樹活動</li> <li>●事務所周辺美化活動</li> <li>●新入社員グリーンオリエンテーション</li> <li>●環境強化月間(上期)</li> </ul>	北海道支店、水島支店、坂出出張所、新門司事業所、大分出張所、鹿児島出張所、沖縄出張所
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全定例トップ点検(船舶漏油事故操練)</li> <li>安全キャンペーン【6~7月】</li> <li>熱中症予防キャンペーン【6~10月】</li> <li>★コンプライアンス勉強会(倉庫業法、港湾運送事業法)</li> <li>●社有林「フジツの森」植樹活動</li> <li>●事務所周辺美化活動</li> <li>●新入社員グリーンオリエンテーション</li> <li>●環境強化月間(上期)</li> </ul>	豊橋支店、北海道支店、福岡支店
	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全定例トップ点検(船舶漏油事故操練)</li> <li>安全キャンペーン【6~7月】</li> <li>熱中症予防キャンペーン【6~10月】</li> <li>★コンプライアンス勉強会(倉庫業法、港湾運送事業法)</li> <li>●社有林「フジツの森」植樹活動</li> <li>●事務所周辺美化活動</li> <li>●新入社員グリーンオリエンテーション</li> <li>●環境強化月間(上期)</li> </ul>	新門司事業所
12	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全定例トップ点検(船舶漏油事故操練)</li> <li>安全キャンペーン【6~7月】</li> <li>熱中症予防キャンペーン【6~10月】</li> <li>★コンプライアンス勉強会(倉庫業法、港湾運送事業法)</li> <li>●社有林「フジツの森」植樹活動</li> <li>●事務所周辺美化活動</li> <li>●新入社員グリーンオリエンテーション</li> <li>●環境強化月間(上期)</li> </ul>	新門司事業所
	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全定例トップ点検(船舶漏油事故操練)</li> <li>安全キャンペーン【6~7月】</li> <li>熱中症予防キャンペーン【6~10月】</li> <li>★コンプライアンス勉強会(倉庫業法、港湾運送事業法)</li> <li>●社有林「フジツの森」植樹活動</li> <li>●事務所周辺美化活動</li> <li>●新入社員グリーンオリエンテーション</li> <li>●環境強化月間(上期)</li> </ul>	新門司事業所
2016	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全定例トップ点検(船舶漏油事故操練)</li> <li>安全キャンペーン【6~7月】</li> <li>熱中症予防キャンペーン【6~10月】</li> <li>★コンプライアンス勉強会(倉庫業法、港湾運送事業法)</li> <li>●社有林「フジツの森」植樹活動</li> <li>●事務所周辺美化活動</li> <li>●新入社員グリーンオリエンテーション</li> <li>●環境強化月間(上期)</li> </ul>	仙台支店
	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全定例トップ点検(船舶漏油事故操練)</li> <li>安全キャンペーン【6~7月】</li> <li>熱中症予防キャンペーン【6~10月】</li> <li>★コンプライアンス勉強会(倉庫業法、港湾運送事業法)</li> <li>●社有林「フジツの森」植樹活動</li> <li>●事務所周辺美化活動</li> <li>●新入社員グリーンオリエンテーション</li> <li>●環境強化月間(上期)</li> </ul>	大分出張所
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全定例トップ点検(船舶漏油事故操練)</li> <li>安全キャンペーン【6~7月】</li> <li>熱中症予防キャンペーン【6~10月】</li> <li>★コンプライアンス勉強会(倉庫業法、港湾運送事業法)</li> <li>●社有林「フジツの森」植樹活動</li> <li>●事務所周辺美化活動</li> <li>●新入社員グリーンオリエンテーション</li> <li>●環境強化月間(上期)</li> </ul>	グループ本社
	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全定例トップ点検(船舶漏油事故操練)</li> <li>安全キャンペーン【6~7月】</li> <li>熱中症予防キャンペーン【6~10月】</li> <li>★コンプライアンス勉強会(倉庫業法、港湾運送事業法)</li> <li>●社有林「フジツの森」植樹活動</li> <li>●事務所周辺美化活動</li> <li>●新入社員グリーンオリエンテーション</li> <li>●環境強化月間(上期)</li> </ul>	飛鳥分室
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全定例トップ点検(船舶漏油事故操練)</li> <li>安全キャンペーン【6~7月】</li> <li>熱中症予防キャンペーン【6~10月】</li> <li>★コンプライアンス勉強会(倉庫業法、港湾運送事業法)</li> <li>●社有林「フジツの森」植樹活動</li> <li>●事務所周辺美化活動</li> <li>●新入社員グリーンオリエンテーション</li> <li>●環境強化月間(上期)</li> </ul>	福岡支店
	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全定例トップ点検(船舶漏油事故操練)</li> <li>安全キャンペーン【6~7月】</li> <li>熱中症予防キャンペーン【6~10月】</li> <li>★コンプライアンス勉強会(倉庫業法、港湾運送事業法)</li> <li>●社有林「フジツの森」植樹活動</li> <li>●事務所周辺美化活動</li> <li>●新入社員グリーンオリエンテーション</li> <li>●環境強化月間(上期)</li> </ul>	福岡支店
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全定例トップ点検(船舶漏油事故操練)</li> <li>安全キャンペーン【6~7月】</li> <li>熱中症予防キャンペーン【6~10月】</li> <li>★コンプライアンス勉強会(倉庫業法、港湾運送事業法)</li> <li>●社有林「フジツの森」植樹活動</li> <li>●事務所周辺美化活動</li> <li>●新入社員グリーンオリエンテーション</li> <li>●環境強化月間(上期)</li> </ul>	グループ本社
	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全定例トップ点検(船舶漏油事故操練)</li> <li>安全キャンペーン【6~7月】</li> <li>熱中症予防キャンペーン【6~10月】</li> <li>★コンプライアンス勉強会(倉庫業法、港湾運送事業法)</li> <li>●社有林「フジツの森」植樹活動</li> <li>●事務所周辺美化活動</li> <li>●新入社員グリーンオリエンテーション</li> <li>●環境強化月間(上期)</li> </ul>	グループ本社
年12回	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全定例トップ点検(船舶漏油事故操練)</li> <li>安全キャンペーン【6~7月】</li> <li>熱中症予防キャンペーン【6~10月】</li> <li>★コンプライアンス勉強会(倉庫業法、港湾運送事業法)</li> <li>●社有林「フジツの森」植樹活動</li> <li>●事務所周辺美化活動</li> <li>●新入社員グリーンオリエンテーション</li> <li>●環境強化月間(上期)</li> </ul>	鹿島出張所
	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全定例トップ点検(船舶漏油事故操練)</li> <li>安全キャンペーン【6~7月】</li> <li>熱中症予防キャンペーン【6~10月】</li> <li>★コンプライアンス勉強会(倉庫業法、港湾運送事業法)</li> <li>●社有林「フジツの森」植樹活動</li> <li>●事務所周辺美化活動</li> <li>●新入社員グリーンオリエンテーション</li> <li>●環境強化月間(上期)</li> </ul>	鹿島出張所
毎月	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全定例トップ点検(船舶漏油事故操練)</li> <li>安全キャンペーン【6~7月】</li> <li>熱中症予防キャンペーン【6~10月】</li> <li>★コンプライアンス勉強会(倉庫業法、港湾運送事業法)</li> <li>●社有林「フジツの森」植樹活動</li> <li>●事務所周辺美化活動</li> <li>●新入社員グリーンオリエンテーション</li> <li>●環境強化月間(上期)</li> </ul>	鹿島出張所
	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全定例トップ点検(船舶漏油事故操練)</li> <li>安全キャンペーン【6~7月】</li> <li>熱中症予防キャンペーン【6~10月】</li> <li>★コンプライアンス勉強会(倉庫業法、港湾運送事業法)</li> <li>●社有林「フジツの森」植樹活動</li> <li>●事務所周辺美化活動</li> <li>●新入社員グリーンオリエンテーション</li> <li>●環境強化月間(上期)</li> </ul>	鹿島出張所

実施月	項目	拠点
12	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゼロ災キャンペーン(下期)</li> <li>安全推進活動</li> <li>安全キャンペーン</li> </ul>	グループ本社、大分出張所、北海道支店、横浜出張所、豊橋支店、福岡支店、新門司事業所、大分出張所、鹿児島出張所、沖縄出張所
	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全会議・パトロール</li> <li>事故ゼロキャンペーン</li> <li>緊急時海陸通報訓練</li> <li>交通安全統一キャンペーン【12~1月】</li> <li>年末年始ゼロ災キャンペーン【12~1月】</li> <li>安全キャンペーン【12~1月】</li> <li>年末年始無災害活動【12~1月】</li> <li>安全定例トップ点検(船舶防火操練)</li> <li>年末年始連休前職場点検</li> <li>●事務所周辺美化活動</li> <li>安全定例トップ点検(車輛輸送)</li> <li>安全活動</li> </ul>	豊橋支店、鹿児島出張所、沖縄出張所、大阪支店、水島支店、坂出出張所、新門司事業所
2016	<ul style="list-style-type: none"> <li>★コンプライアンス勉強会(内航海運業法、港湾労働法)</li> <li>●中学生職場訪問</li> <li>●JICA 本船見学受け入れ</li> <li>●事務所周辺美化活動</li> <li>安全定例トップ点検(コンテナ輸送)</li> <li>全国安全会議</li> <li>安全・安心職場づくり報告会</li> <li>安全定例トップ点検(船舶発航前検査点検)</li> <li>「激励の日」年度末の激励巡視</li> <li>★経営者コンプライアンス勉強会</li> <li>★コンプライアンス勉強会(廃棄物処理法)</li> <li>●東日本大震災被災地に寄付</li> <li>●事務所周辺美化活動</li> <li>合同安全パトロール</li> <li>安全協議会</li> <li>ヒューマンエラー防止教育</li> <li>★健康講話会・個別健康相談会</li> <li>●事務所周辺美化活動</li> <li>●交通街頭立ち合い</li> </ul>	新門司事業所
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>★コンプライアンス勉強会(内航海運業法、港湾労働法)</li> <li>●中学生職場訪問</li> <li>●JICA 本船見学受け入れ</li> <li>●事務所周辺美化活動</li> <li>安全定例トップ点検(コンテナ輸送)</li> <li>全国安全会議</li> <li>安全・安心職場づくり報告会</li> <li>安全定例トップ点検(船舶発航前検査点検)</li> <li>「激励の日」年度末の激励巡視</li> <li>★経営者コンプライアンス勉強会</li> <li>★コンプライアンス勉強会(廃棄物処理法)</li> <li>●東日本大震災被災地に寄付</li> <li>●事務所周辺美化活動</li> <li>合同安全パトロール</li> <li>安全協議会</li> <li>ヒューマンエラー防止教育</li> <li>★健康講話会・個別健康相談会</li> <li>●事務所周辺美化活動</li> <li>●交通街頭立ち合い</li> </ul>	新門司事業所
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>★コンプライアンス勉強会(内航海運業法、港湾労働法)</li> <li>●中学生職場訪問</li> <li>●JICA 本船見学受け入れ</li> <li>●事務所周辺美化活動</li> <li>安全定例トップ点検(コンテナ輸送)</li> <li>全国安全会議</li> <li>安全・安心職場づくり報告会</li> <li>安全定例トップ点検(船舶発航前検査点検)</li> <li>「激励の日」年度末の激励巡視</li> <li>★経営者コンプライアンス勉強会</li> <li>★コンプライアンス勉強会(廃棄物処理法)</li> <li>●東日本大震災被災地に寄付</li> <li>●事務所周辺美化活動</li> <li>合同安全パトロール</li> <li>安全協議会</li> <li>ヒューマンエラー防止教育</li> <li>★健康講話会・個別健康相談会</li> <li>●事務所周辺美化活動</li> <li>●交通街頭立ち合い</li> </ul>	仙台支店、大分出張所
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>★コンプライアンス勉強会(内航海運業法、港湾労働法)</li> <li>●中学生職場訪問</li> <li>●JICA 本船見学受け入れ</li> <li>●事務所周辺美化活動</li> <li>安全定例トップ点検(コンテナ輸送)</li> <li>全国安全会議</li> <li>安全・安心職場づくり報告会</li> <li>安全定例トップ点検(船舶発航前検査点検)</li> <li>「激励の日」年度末の激励巡視</li> <li>★経営者コンプライアンス勉強会</li> <li>★コンプライアンス勉強会(廃棄物処理法)</li> <li>●東日本大震災被災地に寄付</li> <li>●事務所周辺美化活動</li> <li>合同安全パトロール</li> <li>安全協議会</li> <li>ヒューマンエラー防止教育</li> <li>★健康講話会・個別健康相談会</li> <li>●事務所周辺美化活動</li> <li>●交通街頭立ち合い</li> </ul>	グループ本社
年12回	<ul style="list-style-type: none"> <li>★コンプライアンス勉強会(内航海運業法、港湾労働法)</li> <li>●中学生職場訪問</li> <li>●JICA 本船見学受け入れ</li> <li>●事務所周辺美化活動</li> <li>安全定例トップ点検(コンテナ輸送)</li> <li>全国安全会議</li> <li>安全・安心職場づくり報告会</li> <li>安全定例トップ点検(船舶発航前検査点検)</li> <li>「激励の日」年度末の激励巡視</li> <li>★経営者コンプライアンス勉強会</li> <li>★コンプライアンス勉強会(廃棄物処理法)</li> <li>●東日本大震災被災地に寄付</li> <li>●事務所周辺美化活動</li> <li>合同安全パトロール</li> <li>安全協議会</li> <li>ヒューマンエラー防止教育</li> <li>★健康講話会・個別健康相談会</li> <li>●事務所周辺美化活動</li> <li>●交通街頭立ち合い</li> </ul>	飛鳥分室、福岡支店、福岡支店
毎月	<ul style="list-style-type: none"> <li>★コンプライアンス勉強会(内航海運業法、港湾労働法)</li> <li>●中学生職場訪問</li> <li>●JICA 本船見学受け入れ</li> <li>●事務所周辺美化活動</li> <li>安全定例トップ点検(コンテナ輸送)</li> <li>全国安全会議</li> <li>安全・安心職場づくり報告会</li> <li>安全定例トップ点検(船舶発航前検査点検)</li> <li>「激励の日」年度末の激励巡視</li> <li>★経営者コンプライアンス勉強会</li> <li>★コンプライアンス勉強会(廃棄物処理法)</li> <li>●東日本大震災被災地に寄付</li> <li>●事務所周辺美化活動</li> <li>合同安全パトロール</li> <li>安全協議会</li> <li>ヒューマンエラー防止教育</li> <li>★健康講話会・個別健康相談会</li> <li>●事務所周辺美化活動</li> <li>●交通街頭立ち合い</li> </ul>	グループ本社

## 電力・燃料(船舶・荷役機器など)使用量の推移

右の表は、2013年度~15年度まで過去3年間の当事業活動に伴う環境への負荷を4項目に分類したものです。環境方針に基づき、ISO14001・省資源マニュアルの活用により、電力使用量、燃料使用量を原単位(売上高1億円当たりの使用量)で管理しています。

	2013年度	2014年度	2015年度
電力	11,240千kW 原単位:18.0kW/億円	10,732千kW 原単位:17.2kW/億円	10,865千kW 原単位:17.9kW/億円
燃料 ガソリン・灯油・軽油	1,181KL 原単位:1.89KL/億円	1,133KL 原単位:1.81KL/億円	1,070KL 原単位:1.77KL/億円
燃料 LPG(液化燃料ガス)	105.7t 原単位:0.17t/億円	70.2t 原単位:0.11t/億円	47.1t 原単位:0.07t/億円
燃料 A・C重油	79,567KL 原単位:127.7KL/億円	79,764KL 原単位:127.8KL/億円	77,342KL 原単位:128.0KL/億円

## フジツの森

北海道岩内郡共和町にある社有林「フジツの森」では、森を健全に保つために一部を造成し、人工林としています。「植える→育てる→伐る→使う」というサイクルを持続的にを行い、森林を有効活用しながら、環境と生物多様性保護の実践の場として維持しています。造成した土地では毎年、新入社員の環境教育の一環として植樹を行っています。

	2013年度	2014年度	2015年度
造林事業面積(ha)	8.87	9.06	3.45
樹種 植樹本数(本)	アカエゾマツ	アカエゾマツ	アカエゾマツ
	14,050	20,950	7,980
	環境教育他	ミズナラ	アカエゾマツ
	70	70	70
計	14,120	21,020	8,050

## 社用車に占めるエコカー比率の推移

ハイブリッドカーや電気自動車などのエコカー(クリーンエネルギー自動車)を積極的に導入。環境負荷低減、CO2排出抑制へ社を挙げて取り組んでいます。

	HV	EV	PHV	全台数	比率
2013年度	27	1	0	120	23.3%
2014年度	32	1	3	138	26.1%
2015年度	38	1	3	138	26.1%